

新人看護師のメッセージ



2024年4月入職 ○○さん

学生時代、精神科の臨床実習で来たのがこの茨木病院でした。その時感じたスタッフや患者さんの温かさと優しさがとても印象に残っていて、人との関わり大切さや認知症を含む精神疾患についてもっと学びたいと思い、入職を決めました。

精神科で働くに当たり不安だったのは、採血・点滴、吸引や注入などの看護技術や身体管理の技術・知識を身につける機会があまりないのではということでした。しかし日々の業務の中にそういった技術を求められる機会は私が思っていた以上に多く、今は実践を積み重ねることで少しずつ自分のできることが増えていることに喜びを感じています。何より、先輩方や患者さんが優しく見守ってくださることで、まだまだ看護師として未熟な自分でも、誰かの役にたてるということを実感する毎日です。それと共に、その温かさと期待に少しでも早く応えられるように今過ごしている1日1日をしっかり振り返って、看護師として患者さんのために何をすべきか、今の自分には何ができるのかを考え、目標を持って成長していかなければと強く感じています。

私はもともと自分から人に話しかけるのが苦手で、特に最初の1ヶ月は緊張して報連相もうまく出来ませんでした。それが少しずつ出来るようになり、自分から処置を実施することができるようになり、4カ月目となる今の目標は優先順位と時間管理を意識して業務をすることです。社会人として当たり前のことから、徐々に看護師として大切なことが目標となるにつれて、自分の成長を感じつつ責任も重くなっていることを実感しています。

看護師としての資格を得てまだ数カ月、いまだに自分が「看護師さん」と呼ばれることに緊張し、日々の業務の中では知識や経験が足りないと感じる事も多く、周りの方々の助けや指導を受けながら必死に勉強している最中です。導き支えて下さる先輩方、温かい患者さんたちに感謝しながら、これからも精一杯学び自分がいいなと思ったことをどんどん吸収して、看護師として成長していきたいと思っています。



2024年4月入職 △△さん

私は学生時代に精神看護に興味を持ち、就職するなら精神科だと思い茨木病院を志望いたしました。学生時代はコロナ禍のため精神科の実習は病院での経験がなく、学内実習で紙面で表される患者さんについて勉強しており、実際に会って話をすることができなかったことからイメージがつきづらかったです。そのため精神科病院に就職することとなり、看護技術についての習得ができるかが特に不安でした。ですが、採血や点滴、導尿、吸引、浣腸、摘便など様々な看護技術を学ぶことができ、実施していく上で学びが深まり、できる援助が段々と増えていく喜びを感じています。自分が援助をしていく上で責任が生じることも先輩に丁寧に教えてもらい、看護師としての責任感も学ぶことができています。

毎日日々の業務に追われがちでミスをしてしまうこともあるのですが、その度に先輩が丁寧に何でミスをしたのか、次から起こらないようにどのように対処すればいいのかを私に考えるように導いてくださるので、考える機会をたくさんいただいて成長できているなど感じる事ができています。

また私の配属された病棟は慢性期であるため、患者さんの少しの変化に気づくことがとても大事になります。そのため業務の中で患者さんと会話をする機会を設けて患者さんの人となりを知ることと、患者さんの話すことだけでなく目線を配る先や顔色等に気を配り看護を行うことを心がけております。4月の入職したての頃よりも観察すべきポイントも気にするようになりました。しかし、先輩が見ているポイントの半分も見れているのか不安である気持ちもまだまだあるので、常に勉強はしていきたいことと、個別性を意識して患者さんと関わりたいと思います。